



2015年8月20日発行 会報第803号

今週のプログラム

(2015年8月20日 第803回例会)

卓話「ファイアーサイドミーティング」
(会員増強について)

担当： 松田 親男 会長

次週のプログラム

(2015年8月27日 第804回例会)

卓話「直腸肛門内圧計測システムの開発」

担当： 小山 富夫 会員

第802回例会 (2015年8月6日) の記録

<ロータリーソング>

全会員

♪君が代♪

♪奉仕の理想♪

<ビジター> 米山奨学生 肖 玫岑さん

<誕生日祝い> 8月12日 岡部次郎会員

<会長の時間> 松田親男会長

連日猛暑が続いています。皆さんお変わりありませんでしょうか。今日は「暑い話」をお届けします。猛暑日とは、ご存じのとおり、最高気温が摂氏35度以上になる日のことです。東京は一週間連続して猛暑日が続いており、観測史上初めての記録だそうです。ところで、日本の最高気温は、何度かご存じですか。2013年8月12日に高知県の四万十市で観測された41.0度です。第2位は2007年8月16日に熊谷市と多治見市で観測された40.9度です。暑い所というと南のほうにある県だと思われそうですが、過去最高気温の一覧を見ると緯度の低さよりも、内陸盆地に位置するとか、ヒートアイランド現象・フェーン現象など、地理的条件が影響するようです。では、大阪の過去最高気温は何度だったでしょう。1994年(平成6年)8月8日、39.1度が最高気温だそうです。

ところで、このような今年の暑い夏は、世界全体の傾向のようで、世界各地にも被害を及ぼしています。イラン南西部のペルシャ湾に面したバンドルマズハーでは7月31日に気温が46度となり、イラクの首都バグダッドでは7月30日、気温が52度に達したそうです。政府は急遽、4日間を公休日とすることを決定しました。

4日にはイラク南部アマラで、暑さと電力不足に不満を募らせた市民らが街頭でアバディ政権を批判するなど反政権デモが頻発しています。「イスラム国」の支配地域奪還を目指す政権にとって頭の痛い問題となっています。

世界各地で近年、氷河が解けるペースが加速していると指摘されていますが、アルプス地方では「氷河が数キロも後退しており深刻な現象」と警告されています。

米ニューヨークでは7月29日、過去3位タイとなる35.6度を記録。オーストリアでは気象当局が「過去248年の観測史上で最も暑い7月」と認定しました。スペインでも、国内各地で山林火災が発生し、焼失面積は少なくとも計1万5千ヘクタールとも報じられています。

インドでは、記録のある1990年以降、熱波によ

る死者数が最悪となり、2037人が熱中症などのため死亡したと発表しました。パキスタンでは6月、南部を熱波が襲い、1200人以上が死亡する過去最悪の事態となったそうです。日本でもお年寄りが熱中症で倒れる被害が相次いでいますが、世界の暑さ事情と比べれば、日本の暑さなんてまだまだです。もうしばらく、我慢を続けて、耐えるしかなさそうです。

<ピアノ演奏曲> 近藤美里さん

1. The Rainbow Connection
2. ハナミズキ
3. Smoke Gets In Your Eyes

<幹事報告> 山本友亮幹事

1. ニコニコキャンプ登録御礼と無事終了の報告が参りましたので回覧致します。
2. 本日例会終了後、「おしどりの間」にて理事会を開催致します。理事・役員の皆様はご出席願います。
3. 来週13日は定款に基づく休会ですので、お間違いの無いようお願い致します。

<出席報告> 西本明文出席担当

会員数(内出席免除会員4名) 22名
本日の出席者数(内免除会員2名)
(内名誉会員1名) 17名
本日の出席率 80%
前々回(7月23日)の修正出席率 75%

<SAA報告> 藤田芳浩SAA

*スマイルボックス

池田会員：お久しぶりです

岡部会員：70年前の今日も暑い日でした

藤田会員：皆様、暑中お見舞い申し上げます

黒川会員：暑いよ～！！

コメント無し：西本・岸上・山下 各会員

*ロータリー財団

松田会長：ノルマ達成？

藤田会員：肖君より小豆島のお土産頂きました。
ありがとう！

黒川会員：山田さん大変ですね！！

山田会員：長浜の花火大会。穴場で最高の1万発でした。

コメント無し：高尾・西本・岡部・岸上・小山・山下 各会員

*米山記念奨学会

黒川会員：肖君 ようこそ！！

藤田会員：肖君 夏バテ大丈夫ですか？

山本(雅)会員：暑いです！

コメント無し：高尾・岡部・相原・岸上・山下
各会員

*ラオス基金

黒川会員：ラオスに行こう！！

岡部会員：ラオスに行ってらっしゃい！

藤田会員：8月1日(土)2日(日)今年も

茨城県太子町まで墓参りに行きました

水本会員：暑中お見舞い申し上げます

コメント無し：山下・西本・岸上 各会員

*メイプル基金

岡部会員：今年も誕生月を迎えられました

藤田会員：山下委員長・小山委員長・岸上委員長
活動方針よろしくお願い致します

山田会員：水本会員ありがとうございます。時々電車にめげそうになりますが、お気遣い頂くたびに頑張ってお出しようと思ひになります。

西本会員：暑いです！

山本(友)会員：酷暑お見舞い申し上げます

高尾会員：委員会活動方針よろしく

黒川会員：IM頑張ろう！

コメント無し：相原・山下・岸上 各会員

<卓話>

「社会奉仕委員会」 山下 委員長

今年度の社会奉仕委員会活動は従来通り、下記の活動を継続して参ります。

1) 福島における除染・復興支援
(福島21RC)

2) 薬物乱用防止活動
(大阪府健康医療部薬務課)

3) 交通安全講習会 (吹田警察 交通課)

「職業奉仕委員会」 小山 委員長

職業奉仕という言葉は、国語辞典等には出てきませんし、ロータリアンしか使わない言葉です。その字面から意味するところを考えても答えは出てきません。ロータリーに関する文献の取掛かりを読んだだけでも私にとっては日常あまり念頭にない話です。実践するには私の理解の域を超えているようにも思いますが、まず私自身が職業奉仕の基本的精神の理解を少しでも深める努力をする必要があると考えています。先輩会員のご指導を仰ぎながら過去の職業奉仕活動を参考にさせていただき、本年度の活動方針を立てたいと思ひます。

職業奉仕の理念に関しましてはロータリークラブ110年の歴史の中でいろいろな変遷があるようですが、私としては次のような理解の下で、委員会の運営に当たりたいと思います。

1. 職業奉仕とは、自分自身の職業に対して高い倫理基準を保ち、社会のために奉仕するという心を持って日々の業務を営むことである。

2. 職業奉仕を誠実に行うことにより、最も恩恵を被るのはロータリアン自身であり、職業奉仕の追求と実践はロータリアン自身の事業を繁栄させ、そのことが更にはロータリーの価値を高めてゆくことになる。

3. 職業奉仕の基本“四つのテスト”が単なるお題目にならないよう理解を深める。

4つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1 真実か どうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるか どうか

現時点において私自身としましては実感が湧いていませんが、これらのことを例会で再認識し、職業奉仕を実践することの意義を会員の皆様と共有したいと思います。合わせて職業奉仕の理念の実行基準たる四つのテストの、本来の意味の解釈についても理解を深めたいと思います。最近話題の東芝や東洋ゴムの経営トップにロータリーの職業奉仕の理念が少しでも理解されていればこんな大きな社会問題を引き起こすことにはならなかったのではないのでしょうか。

活動計画

1. 職場訪問を実施し、出来れば例会を行う
2. 1月に職業奉仕フォーラムを実施する
3. 職業奉仕の卓話を企画する（ベテランに依頼する）

以上

「青少年奉仕委員会」 岸上 委員長

5年前に五大奉仕部門となった新世代奉仕部門が、現在では青少年奉仕部門となっています。

2660地区の組織では、青少年活動委員会、青少年交換委員会、ローターアクト委員会、インターアクト委員会で構成されています。

4月11日の部門別協議会では各委員長から次年度方針が発表されました。青少年活動委員会では、ライラ・少年少女ニコニコキャンプについての説明があり、中止の情報があったニコニコキャンプは従来予算から100～150万円削減した

総予算240万円で開催されることとなり、各クラブ10%程度の会員の登録の要請がありました。本年度のニコニコキャンプは7/31から8/2の3日間、「東大阪市立野外活動センター自由の森なるかわ」で東大阪RCのホストで開催され、当クラブからは木下健治会員の子供とその友達3名が参加されます。

秋のライラは大阪心斎橋RCがホストとなり、10月10日から12日に六甲山YMCAで開催されます。来年春のライラはホストクラブ、日程とも未定です。

今年度の青少年奉仕部門の地区予算は、ライラ・ニコニコキャンプで400万円、ローターアクトで400万円、インターアクトで200万円、青少年交換で450万円、その他2万円で合計1452万円となっており、緊縮財政を反映して2014-15年度に比較して330万円の減額となっています。

青少年交換プログラムは1920年代にヨーロッパでロータリアンの子供同士を交換し、互いにホームステイさせあい、わが子のように育ててみようという試みに端を発しています。そしてこのプログラムは、次世代の青少年の育成という有意義な奉仕活動として認められ、1972年にRIの定める正式プログラムとなりました。近年、世界中で年間7000人の16歳から18歳の高校生が参加しています。

こうしたプログラムの成り立ちから、青少年交換プログラムのみロータリアンの子弟参加が認められています。現在2016年8月から一年間の交換期間の学生を募集しています。募集人員は5～8名で応募期限は2015年8月28日となっています。応募資格等の詳細につきましては、ガバナー月信7月号に掲載されていますのでご覧下さい。 (担当：水本)